

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

2024 年度年間聖句

「常に主を覚えてあなたの道を歩け。そうすれば、
主はあなたの道筋をまっすぐにしてくださる。」
(箴言 3 章 6 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時～10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第 3・午後 2 時)
●夕の祈禱会
(第 2、第 4・午後 7 時)

牧 師 井 殿 準
協力牧師 堂 本 陽 子
協力牧師 井 東 炤

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 0 4 2-7 4 2-1 5 9 3
FAX. 0 4 2-7 4 2-1 3 9 3
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
0 0 2 9 0-4-8 0 7 0 7

3130 2024 年 10 月 27 日

礼拝式順序

(降誕前第 9 主日)

司式者 井 殿 準
奏楽者 黒 田 理 佳

前 奏 奏 楽 者
招 詞 詩編 96 : 1 ~ 3 司 式 者
讃 美 歌 2 1 0 「来る朝ごとに」 一 同
聖 書 司 式 者
マタイ 2 3 : 2 5 ~ 3 6 (新 P. 46)
使徒信条 (9 3 - 4 - A) 一 同
祈 禱 司 式 者
讃 美 歌 5 5 1 「朝の光 闇をはらい」 一 同
説 教 「心を清めるためには」 司 式 者
祈 禱 ”
讃 美 歌 3 4 4 「聖霊の神、きよき愛よ」 一 同
献 金 ”
主の祈り (9 3 - 5 - A) ”
頌 栄 2 4 「たたえよ、主の民」 ”
祝 禱 司 式 者
答 唱 4 0 - 6 「アーメン」 一 同
~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~
報 告 司 式 者
讃 美 歌 9 2 「主よ、わたしたちの主よ」 一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。
- ・マスクの着用は個人の判断にお任せいたします。ご心配な方はマスクを着用してください。

先週の説教要旨

「過去から自由になって」
(フィリピ 3 : 1 2 ~ 2 1)

パウロはスポーツが好きだったと思われる。古代オリンピックは BC776 年から AD393 年まで続いており、オリンピアだけでなく、ギリシャ各地では盛大に競技大会が行われ、コリントの隣町イストモスでも 2 年に一度大きな競技大会が行われていた。パウロがこれらの競技大会を観ていた可能性は極めて高い。

今日の聖書の箇所先立つ部分で、パウロは、主イエスを信じるのがどれほど素晴らしいことかということ述べていた (7 節以下)。しかし、パウロはその素晴らしさを知ってなお「わたしは、既にそれを得たというわけではなく、既に完全な者となっているわけでもありません」と語る (12 節)。そして、「なすべきことはただ一つ、後ろのものを忘れ、前のものに全身を向けつつ、神がキリスト・イエスによって上へ召して、お与えになる賞を得るために、目標を目指してひたすら走ることです」と告げる (13 ~ 14 節)。「後ろのものを忘れる」とは、「過去をすべて忘れよ」ということではなく、「罪にとらわれていた過去の生き方から自由になりなさい」ということだ。

パウロは、迫害者としての過去を決して忘れることはなかったことだろう。しかし、その自分の大きな罪を赦すために、主イエスがご自身の命を投げ打ってくださったことを悟ったパウロは、感動に打ち震えながら、迫害者から伝道者に変えられて、パウロは走り始めて行った。罪が赦されていることを知って、安心して立ち止まるのではなく、「キリストは我々の卑しい体を栄光ある体と変えてくださり、天の御国に招き入れ、永遠の命に生きる者としてくださる」「我々が向かう先にはそのような素晴らしい賞が用意されている」「その賞をいただくことを目指して、精一杯走って行こう」とパウロは訴える (20 ~ 21 節)。

走り方は人によって様々である。肝心なのは、神の待つゴールに向かって歩みを止めないことだ。神は素晴らしい賞を用意して、両手を大きく広げて我々のことを待っていてくださる。幼子が前方で待つ大好きな母の胸に飛び込んで行くように、我々もしっかりと前を向いて、喜んで神に向かって進んで行こう。